

# 3.1

## cocos2d-xが用意する サンプル「TestCpp」



まず、cocos2d-xが用意しているサンプル「TestCpp」について説明しましょう。サンプルといっても、cocos2d-xの機能を動作確認するためのものなので、ソースコードやログを見ないとわからないものも含まれています。しかし、動作確認用のサンプルであるからこそ、cocos2d-xの機能の多くを見ることができます。初心者であれば十分過ぎるほどの情報量です。さらにもっと詳しく知りたければ、cocos2d-xそのもののソースコードを見てみてください。オープンソースなのですべてのソースコードを見ることができます。サンプルでは見ることのできない便利なクラスに出会うことができるでしょう。

### iOS 版による実行

---

ここでは、iOS向けのTestCppを実行するまでの流れだけ紹介します。Android OS版もありますが、開発環境を整えないと実行できないため、Chapter 2で開発環境を整えたあとに実行してみてください。一部iOSのみの機能、Android OSのみの機能がありますが、内容はほぼ変わりません。

iOS上でTestCppを確認するには、cocos2d-xとXcodeがインストールされている必要があります。まだインストールしていない場合は、Chapter 2を参照して開発環境を整えてください。TestCppは次のディレクトリにあります。

```
cocos2d-2.1rc0-x-2.1.2/samples/Cpp/TestCpp
```

次のファイルがiOS用プロジェクトなので、ダブルクリックしてXcodeを起動しましょう(図3.1)。

```
cocos2d-2.1rc0-x-2.1.2/samples/Cpp/TestCpp/proj.ios/TestCpp.xcodeproj
```

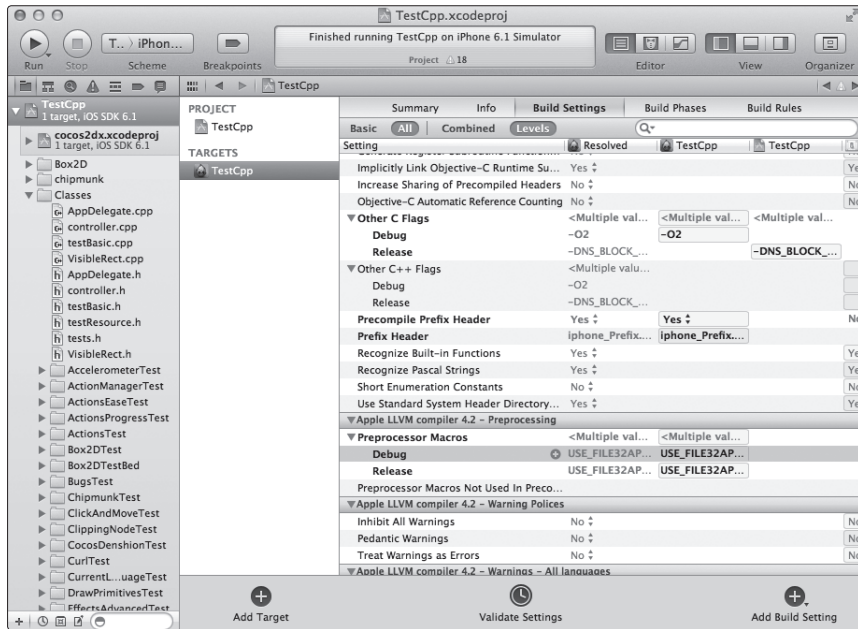


図 3.1 : 実行するXcodeのプロジェクト (cocos2d-2.1rc0-x-2.1.2/samples/Cpp/TestCpp/TestCpp.xcodeproj)

プロジェクトを開いたら、Xcodeの左上にある [Run] ボタンをクリックしてください。iOSシミュレータが起動して、TestCppが実行されます。もしiOS Developer Programに参加しているのであれば、実機で起動してみてもいいでしょう。